



2019年  
08月01日  
No.A19-04

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

## 中東調査会月間活動誌 (2019年7月)

### 1. 中東調査会主催の行事

#### (1) トップミーティング

- ・7月16日(火)、後藤 謙次 ジャーナリスト・白鷗大学特任教授「日本の政局解説」(於：ホテルオークラ)。



#### <要旨>

参議院選挙に係る政局の見通し及び2021年までの政治日程などについて詳説した。質疑応答では、女性議員の進出、選挙制度変更の可能性について質問があった。

#### (2) 中東情勢講演会

- ・7月1日(月)、岡 浩 外務省中東アフリカ局長「最近の中東情勢と日本の外交」(於：日本記者クラブ「会見場」)



#### <概要>

講師より、中東地域の重要性や同地域が抱える諸問題について概説があった。そのうえで中東各国の内政・外交の動向及び日本との関係、また日本の中東外交の取組について説明があった。質疑では中東諸国との二国間関係等について質問が出た。

- ・7月3日(水)、大塚 聖一 駐カタール大使「カタール外交から見た中東情勢」、(於：日本記者クラブ「会見場」)



#### <概要>

講師より、政治・経済・安全保障等の多角的な視点からカタールの外交戦略について説明があった。これを踏まえ、サウジ・UAE・イラン等の周辺諸国との関係をはじめとした、最新の地域情勢について解説があった。質疑ではカタールの経済戦略の見通しやパレスチナへの支援等について質問が出た。

- ・7月19日(金)、松永 泰行 東京外国語大学

教授「米・イラン対立——その背景、構造、および今後の見通し——」、(於：日本記者クラブ「会見場」)



#### <概要>

講師より、ホルムズ海峡を巡る流動的な情勢に対する現状分析と課題について概説があった。その中で米・イラン対立の歴史性やイラン側の見方について説明がなされた。質疑では核合意やタンカー攻撃事件等について質問が出た。

・7月22日(月)、ハサン・ムラト・メルジャン駐日トルコ共和国特命全権大使「トルコの外交政策」、(於：日本記者クラブ「会見場」)



#### <概要>

大使より、日本・トルコ友好関係の礎となったエルトゥールル号事件について簡単に触れた後、現在の国際社会全体が直面している紛争や難民問題について概観した。それらを踏まえ

たうえで、諸般の外交問題についてのトルコの見解を説明した。質疑では、トルコ・イラン関係や7.15クーデタ未遂事件に関する質問があった。

## 2. 中東調査会の活動

### (1) 中東トピックスの発行【会員限定】

・2019年07月号(2019年08月01日付)

1. アルジェリア：新政権移行に向けた国民対話の開始
  2. イエメン：UAE軍の一部撤退
  3. イスラエル：外務省の予算不足
  4. イラン：CIAスパイ17人の逮捕発表
  5. トルコ：安倍首相とエルドアン大統領の会談
  6. バハレーン：海上安全保障会議の開催を発表
- ※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/topics/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/))

### (2) 中東分析レポートの発行【会員限定】

- ・No.2「フーシー派(正式名称：アンサール・アッラー)基礎資料」(7月8日)
- ・No.3「思想統制としての「サウジ・ビジョン2030」」(7月30日)

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/report/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/))

### (3) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

- ・No.5「カブールでの爆破事件」(7月26日)

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/monitor/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/))

### (4) 中東かわら版の発行

No.55「トルコ：G20大阪サミットでトランプ大統領と会談」(研究員 金子真夕、7月1日)

No.56「カタール：米国とターリバーンの2019年3回目となる和平交渉開始」(研究員 高尾賢

一郎、7月2日)

No.57「イエメン：アメリカとイランとの緊張を受け、UAEが派兵部隊を削減」(主席研究員 高岡豊、7月2日)

No.58「アフガニスタン：カブール等での爆破事件の発生」(研究員 青木健太、7月2日)

No.59「イラン：低濃縮ウランが規定貯蔵量を超え」(研究員 青木健太、7月3日)

No.60「イラン：ウラン濃縮の制限超過を発表」(研究員 青木健太、7月9日)

No.61「シリア：情報機関で人事異動」(主席研究員 高岡豊、7月9日)

No.62「カタール：タミーム首長の訪米」(研究員 高尾賢一郎、7月10日)

No.63「レバノン：アメリカがヒズブッラー出身の国会議員らを制裁対象に指定」(主席研究員 高岡豊、7月10日)

No.64「バハレーン：米国提案の海上安全保障会議を主催か」(研究員 高尾賢一郎、7月18日)

No.65「トルコ：ロシア製ミサイル防衛システム S-400の納入開始」(研究員 金子真夕、7月19日)

No.66「イラン：革命防衛隊による外国籍タンカーの拿捕」(研究員 青木健太、7月19日)

No.67「イラン：革命防衛隊による外国籍タンカーの拿捕#2」(研究員 青木健太、7月22日)

No.68「サウジアラビア：16年ぶりの米軍駐留」(研究員 高尾賢一郎、7月23日)

No.69「チュニジア：シブシー大統領の死去、大統領選挙の前倒し」(研究員 金谷美紗、7月26日)

No.70「シリア：困窮するシリア人民」(主席研究員 高岡豊、7月31日)

※内容はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

### (5) その他の活動

- ・7月11~13日、シンガポール国立大学付属 Middle East Institute(MEI)が主催する国際会議「The New Geopolitics of East and West Asia: Emerging Security Trends」が開催され、浅子副理事長が招待を受けて参加した。
- ・7月13、20、27日(土)、外部講演会、主席研究員 高岡豊「パワーバランスの変動と中東」(於：早稲田大学エクステンションセンター)  
\*早稲田大学オープンカレッジへ出講した。
- ・7月15~19日、高岡主席研究員がシンガポールへ出張し、MEI研究者及び有識者らと意見交換を行った。

## 3. その他

### (1) 要人往来

- ・1日、G20大阪サミット出席に伴い訪日中のエルドアン・トルコ共和国大統領は、天皇皇后両陛下との会見、並びに、安倍首相とのワーキングディナーを行った。
- ・2日、G20大阪サミット出席に伴い訪日中のサウジアラビアのムハンマド・ビン・サルマーン皇太子は、天皇陛下と会見した。
- ・3日、河野外相はザリーフ・イラン外相と電話会談を行った。
- ・23日、安倍首相はサウジアラビアのムハンマド・ビン・サルマーン皇太子と電話会談を行った。
- ・28日~8月1日、山田外務大臣政務官はチュニジア共和国及びイラン・イスラーム共和国を訪問した。

### (2) 外務省人事

- ・7月5日(金)発令  
中東アフリカ局長 高橋 克彦
- ・7月23日(火)発令  
カタール大使 須永 和男

\*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

\*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。